

千年の古都 慶州

～慶州の見どころを紹介する展示会開催のご案内～

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

駐日韓国文化院では、**2025 年アジア太平洋経済協力（APEC）首脳会議が韓国の慶州（キョンジュ）市で開催されることを記念し、かつて新羅の都であった「慶州」の美しい風景を捉えた写真展「千年の古都 慶州」展を開催する運びとなりました。**

本展では新羅の黄金の遺産から、現代的な活気が共存する街の夜、そして四季折々の多彩な姿まで写真一枚一枚に込められた慶州の奥深い物語を通じて、過去と現在を結ぶ特別な時間をご体験いただけます。**慶州の遺跡地、名所、歴史、地図、文化遺産などの見どころを写真と動画などの視聴覚資料 50 点を通じて紹介します。**

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。

資料のご依頼、取材のお申し込みは、韓国文化院までご連絡下さいますようお願い申し上げます。



【イベントの概要】

- 会期：2025 年 10 月 17 日（金）～23 日（木）10:00～17:00
※休館日：日曜日 ◆入場無料
- 会場：駐日韓国文化院 ギャラリーMI
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10
- アクセス：地下鉄 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目」駅 1 番出口より新宿方面徒歩 3 分
- 展示内容：慶州の位置、特徴などをはじめ、慶州の見どころを仏国寺、南山、市内の 3 つのエリアに分けて写真と動画など計 50 点を通じて紹介
- 主催：駐日韓国大使館 韓国文化院
- お問い合わせ：駐日韓国大使館 韓国文化院

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp

イベント担当 河聖煥（ハ・ソンファン） / 広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン）

【慶州市について】



慶州（ギョンジュ）市は韓国・慶尚北道の東南部に位置し、周囲を山に囲まれています。新羅千年の都と呼ばれる慶州は、三国時代から統一新羅時代までの約 1000 年間（紀元前 57 年～935 年）新羅の都でした。市内には古墳や遺跡など、多くの文化遺産が散在し、都市全体が「屋根

のない博物館」と呼ばれています。特に新羅時代に花開いた仏教文化の傑作といえる仏国寺や石窟庵は、韓国を代表する仏教寺院として有名です。

また慶州市は歴史都市であると同時に、観光地としても人気が高く、市内のネナム交差点から旧ファンナム（皇南）小学校交差点まで約 700 メートル続くファンリダンギル（皇理団通り）は若者を中心に人気を集めています。慶州市へのアクセスは、金海国際空港（釜山）から高速バスで約 1 時間半、仁川空港からは、ソウル駅に移動後、新慶州駅間を高速鉄道 KTX で約 4 時間かかります。

【千年の古都 慶州展 展示計画】（予定）

主題	主な内容
I. 慶州市の紹介	－慶州市の位置、特徴、地図などを紹介 －2022 東アジア文化都市選定の過程を紹介
II. 仏国寺エリアの紹介	－仏国寺の構造と周辺にある各種文化財（国宝、宝物、史跡など）を紹介 －石窟庵の構造と見どころなどの紹介
III. 南山（三陵溪谷）エリアの紹介	－三陵と溪谷周辺の様々な磨崖仏の紹介
IV. 市内エリアの紹介	－大陵苑一帯及び天馬塚の紹介、 －天馬塚金冠、聖徳大王神鐘を韓国文化院所蔵のレプリカにて紹介 －瞻星台の構造と見どころなどの紹介
V. 慶州関連映像の上映	－韓国文化財財団制作の金冠塚、磨崖仏像、瞻星台などの慶州の文化財の紹介映像を上映

【主な作品】（予定）

 春の大陵苑 写真提供－チェ・ジェヨン（韓国観光公社）	 石窟庵本尊仏 写真提供-国立慶州文化財研究所
 天馬塚天馬図 写真提供－国立慶州文化財研究所	 仏国寺 写真提供－ドゥドリム（韓国観光公社）

「お問い合わせ：韓国文化院 河・趙 ☎03-3357-5970 ✉ postmaster@koreanculture.jp »